

ミルク ルパワー

 日本赤十字社 茨城県支部乳児院 第22号 令和4年春



吹き抜ける風が心地良い、新緑のきれいな季節となりました。春の陽気に誘われ、虫や草花が庭に姿を現しています。子どもたちは「ちょうちよいた!」「まてまて～」と無邪気に追いかけたり、「おなな!(おはな)」と覚えたての言葉で見つけたお花を教えてください。目をキラキラと輝かせるその姿に、心がポカポカと温かくなります。

新型コロナウイルス感染症の収束はまだ見えませんが、感染症予防に努めながら工夫して様々な活動を取り入れ、感性豊かな心を育てていきたいと思えます。

制限のある生活が続いており、ご心配ご迷惑をお掛けしておりますが、ご理解ご協力を頂き誠にありがとうございます。一日も早く皆さまと交流出来る日が来ることを願っています。

新職員紹介

4月1日付で着任しました清宮(セイミヤ)と申します。水戸赤十字病院に入職し二十数年、多くの方々にお世話になりました。定年まで病院に居るものとばかり思っていた中での突然の異動に、只々驚きと不安でいっぱいでしたが、いざ来てみると皆さんは温かい声を掛けてくださり、子どもたちは元気一杯の笑顔とハイタッチで迎えてくれ不安から安心に変わりました。本当に感謝しています。医療から福祉に変わり、これから分からないことが沢山出てくると思います。皆さんにお力添えを頂きながら色々な事にチャレンジし、日赤乳児院の更なる発展のために尽力して参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



清宮事務長

子どもたちから元気をもらって楽しくお仕事が出来たら良いと思います。よろしくをお願いします。



後藤事務員

子どもたちが安心して、そして安全な生活が送れるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



長田看護師

看護師として日々学び、子どもたちと共に成長していきたいと思います。よろしくお願いします。



根矢看護師

傾聴と共感を常に持ち、多くの子どもたちと関わる中で、沢山の笑顔が引き出せるよう頑張ります。



鶴保育士



子どもたちの姿



節分に退治した鬼は、今でも「おにこわい」と話題に出ます

冬の寒さの中でも外に出ると嬉しくて元気に走り回ったり、霜柱に触れ自然を感じました。桜が咲くと、ひらりと舞う花びらを器用につまんで見せてくれました。いちご狩りに出掛けて、大好きないちごを頬張り満足気でした。



頂いた沢山の卵でスクランブルエッグを作りみんなで頬張りました♡

院庭の修繕工事をし、より安全に遊べるようになりました♪



小規模グループケアたんぽぽ



クッキング
生クリームを絞ってプリンアラモード作りや、お弁当を作りテラスでピクニック気分でお食べしました。





保健だより

青葉が美しく、春から夏へと移り行く季節となりました。ピークを迎えていた花粉の飛散も落ち着きつつありますが、近年花粉症の患者さんは徐々に低年齢化していると言われており、当院の子どもたちの中にも花粉症の症状がみられることも。私自身も1歳頃から目の痒みや止まらないくしゃみに辛い思いをし、重度の花粉症と付き合ってきたので心配しておりましたが、当院の子どもたちは幸い軽い症状のみで、元気いっぱいに院庭を走り回っています。汗ばむ暑い日もあれば肌寒い日もあり、寒暖差が激しく体調管理が難しい時期でもあります。湿疹や虫刺され等の皮膚トラブルも増えてくるので、症状の変化を見守りながら早期にケアしていこうと思います♪



ご寄付・ご寄贈

たくさんの篤いお気持ち ありがとうございます

藤島様	井坂様	筋野様	門司様	和田様	坂田様
MSW	TARAちゃん様		株式会社明治様		
日本ベビーフード協議会様			(株)ファーストリテイリング様		
日本生協連 (COOP) 様			古河赤十字病院様		
大成女子高等学校 JRC 部様			(株)Kirala 様		
(株)J&J 事業創造様			その他、匿名希望の皆様		



順不同 (令和4年1月~3月)



編集後記

これからどんどん暑い日が増えていきますが、マスク生活の日々をどう乗り切ろうか…アイスか炭酸飲料か、はたまた大人のシュワシュワか。そうだ!!子どもたちとひんやりスイーツを作ったら楽しそう♪



編集・発行

日本赤十字社茨城県支部乳児院
〒310-0914
茨城県水戸市小吹町 2673-1
[TEL:029-240-3800](tel:029-240-3800)
FAX:029-243-9300

茨城県支部のInstagramでも
乳児院の様子をご覧いただけます

